

研究計画「長寿と感染症感受性に関する研究」について

ヒト血液を用いた抗インフルエンザモノクローナル抗体の作製 (25-74-0220)
インフルエンザ罹患患者における免疫応答の解析 (29-71-A0320)
インフルエンザに対する感受性に関わる因子の解析 (2019-26-1018)
にご協力いただいた方へ

東京大学医科学研究所ウイルス感染部門 教授
河岡 義裕

長寿の方は、感染症に罹りにくい、あるいは罹っても重症化しにくいなど、感染症に対する感受性が一般の方と異なる可能性があります。本研究の目的は、長寿の方の感染症感受性を解析し、長寿のメカニズムや分子基盤を明らかにすることです。長寿の方がどのような感染症に暴露されてきたのか、どのような抗体を持っているのかを解析します。また、百寿者由来 iPS 細胞を呼吸器上皮細胞に分化し様々なウイルスを感染させ、感染症に対する感受性を解析します。本研究により、健康寿命の延伸や感染症対策の向上への貢献が期待されます。

この研究では、東京大学医科学研究所ウイルス感染部門において実施している下記の研究で提供していただいた試料と情報を使わせていただきたく存じます。

ご自身の試料・情報が本研究に利用されることを望まない場合には、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

【対象者】

2014 年 2 月以降、東京大学医科学研究所で下記の研究に参加し、血液の採取・提供、および情報提供された方

- ・ ヒト血液を用いた抗インフルエンザモノクローナル抗体の作製 (25-74-0220)
 - ・ インフルエンザ罹患患者における免疫応答の解析 (29-71-A0320)
 - ・ インフルエンザに対する感受性に関わる因子の解析 (2019-26-1018) *
- * 慶応義塾大学における「包括的国際百寿研究」に参加された 100 歳以上の方も含まれます。

【お願いしたいこと】

ご提供いただいた血液試料及び情報を、本研究に使わせていただくこと。

【外部への試料・情報の提供】

上記試料及び情報は、米国*の共同研究機関であるウイスコンシン大学および Translational Genomics Research Institute (TGen) へ提供し解析を行います。対応表は、医科研の個人情報保護管理者が保管・管理します。これらの機関へは個人を特定できる情報は提供せず、ID 番号のみが付された状態で試料・情報の解析が行われます。

* 米国の個人情報保護に関する制度については国の個人情報保護委員会のサイトをご参照ください。
<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>

【研究組織】

研究代表者

東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門 教授 河岡 義裕

【研究期間】2023 年 7 月 20 日（所長許可日）～2027 年 3 月 31 日

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門 担当 岩附 研子

電話: 03-6409-2207 FAX: 03-6409-2209

E-mail: kenken@ims.u-tokyo.ac.jp